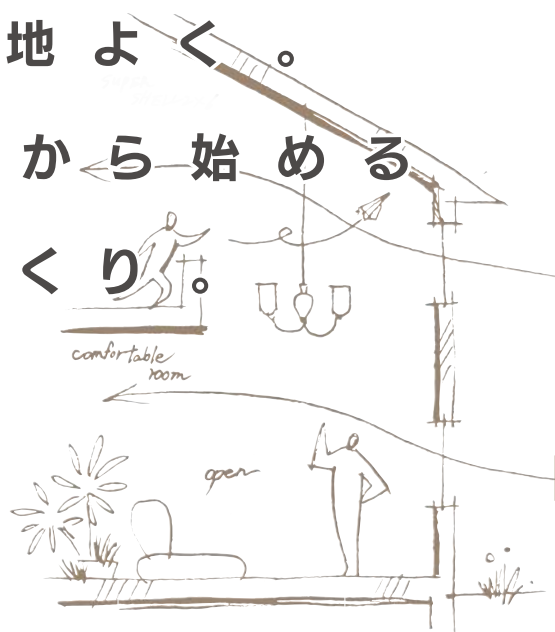




高性能屋根建材
ダントツ
ルーフ
パネルⅢ

もっとのびやかに。
もっと心地よく。
屋根選びから始める
住まいづくり。



高強度・高耐震

高断熱・高遮熱

高品質

省施工

COMFORTABLE | 開放感あふれる空間

みんながほしい、のびやかで気持ちのよい空間。DRPⅢ

ダントツルーパネル

夏の照りつける太陽や、冬の寒気を遮り、屋根の真下から快適。優れた強度と耐久性で万が一の地震や台風にも心強い。DRPⅢなら居住空間を縦にも横にも安心して広げられ、開放的な住まいづくりが実現できます。



開放感のある吹き抜け(勾配天井)

屋根の勾配まで吹き抜けた圧倒的な開放感のリビング。高断熱・高遮熱のDRPⅢなら、部屋の隅々まで快適。パネルそのものの強度が優れているので、視線を遮る梁材の必要がありません。

高性能屋根建材

ダントツルーフパネル

DRP

89^{neo}

高性能屋根建材

ダントツルーフパネル

DRP

140

だからこそ実現できます。

縦も横ものびのび。

空間の提案性も広がります。

勾配天井とロフトで お子様も大喜び。

外気の影響を受けにくいDRPⅢなら、ロフトスペースも快適。子供部屋に広い面積をとれない場合におすすめのプランです。



ホームシアターにピッタリ、 小屋裏3階建

従来では、物置としてしか使えなかった小屋根裏。高断熱・高遮熱のDRPⅢなら居室と変わらない快適性で生活空間としての使用が可能です。また高強度のDRPⅢなら、スペースも大きく広げられ、ホームシアターなど今までの小屋根裏では考えられなかった楽しみ方も可能です。



DRP89neo/140 | ダントツルーフパネル89neo/140

圧倒的な厚みで優れた強度と断熱性を実現。LIXIL
もと製造される高品質パネル、DRPⅢは地域や用途に

高性能屋根建材

ダントツルーフパネル

DRP
140

屋根の断熱を高い水準でクリア。
さらに高強度性能を活用した大空間

高性能屋根建材

ダントツルーフパネル

DRP
89_{neo}

切妻から寄棟まで
さまざまな屋根に対応します。

89^{mm}
硬質ウレタンフォーム
(原寸大)

162mm

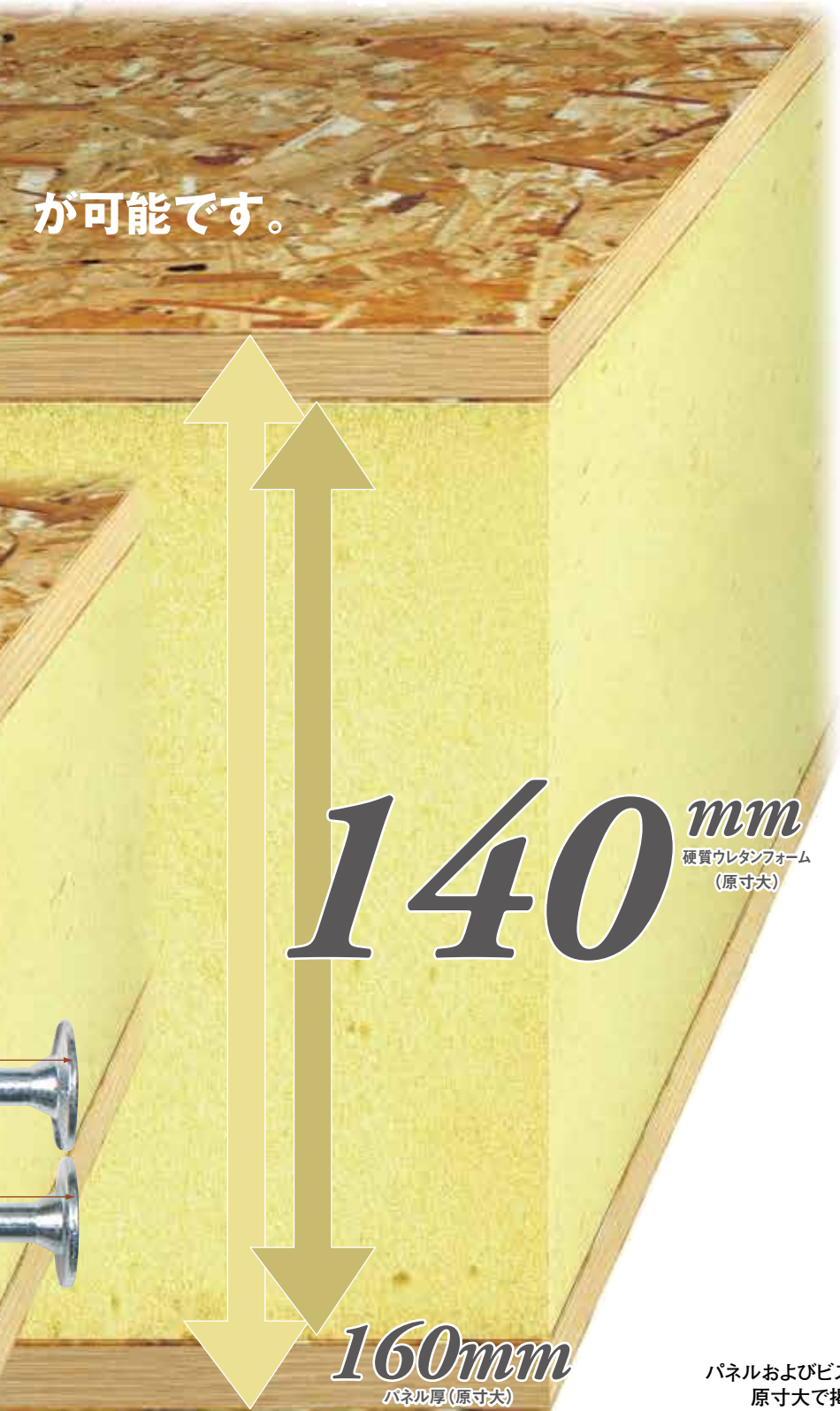
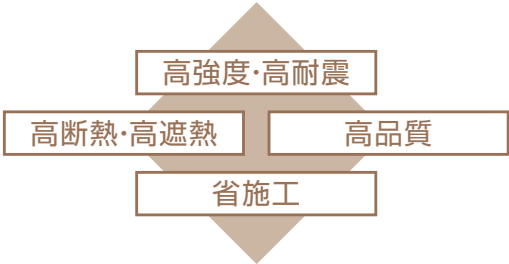
DRP89neo専用ビス

205mm

DRP140専用ビス

109^{mm}
パネル厚(原寸大)

の専用工場で厳しい品質管理の
よって2タイプから選択できます。



が可能です。

140 mm
硬質ウレタンフォーム
(原寸大)

160 mm
パネル厚(原寸大)

パネルおよびビスは
原寸大で掲載

ハイレベルな品質管理のもとで
パネル生産しています。

DRPⅢは厳しい品質管理のもと
LIXILの専用工場で製造される、
バラツキのない高品質パネルです。



LIXIL工場



パネル生産



パネル出荷

高性能屋根建材

タントツルーフパネル

DRP

89_{neo}

PERFORMANCE | 性能

切妻から寄棟まで。デザインの自由度も
高性能屋根パネルです。

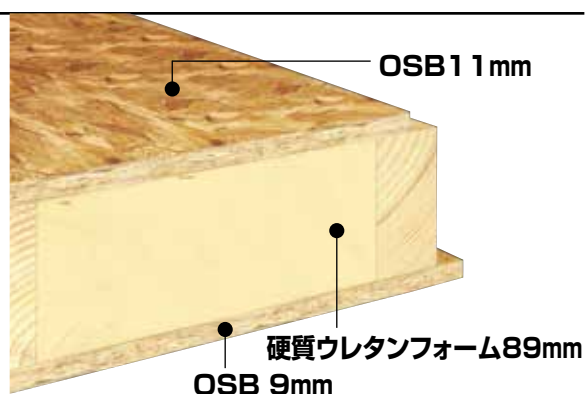
高強度

High intensity

最大スパン**2.95m**^{*}

ビルや鉄橋で使用されているH形鋼は、丈夫なためスパンを長くすることができます。DRP89neoは、これと相似した力学原理であり、複雑な小屋組の必要がなく小屋裏の有効利用が実現できます。

※上記は一般地・積雪30cm・5寸勾配・軽い屋根の場合です。



高耐震

A high earthquake-proof

高い水平力で**地震に強い**。

(床倍率**3.56**倍)^{*}

耐震性能で思い浮かぶのが、壁や柱などの垂直面の強度です。しかし、床や屋根などの水平面がそれを上回る強さがないと、効力を発揮できず、いざ地震が起きたときに建物が倒壊する恐れがあります。DRP89neoは一般在来工法の約5倍に相当する床倍率3.56倍^{*}という強い水平力を確保。大地震でも安心な住宅性能表示の構造等級2・3レベルを実現できます。

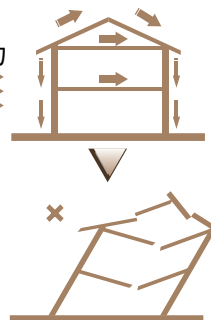
※高床倍率仕様、5寸勾配の場合

※床倍率には、大臣認定制度の仕組みがないため、住宅性能評価機関の独自評価となります。DRPⅢでは、(財)日本住宅・木材技術センターにて床倍率試験を実施し、住宅性能評価機関である(株)日本住宅保証検査機構(JIO)で評価される仕組みがあります。(設計仕様により異なります)



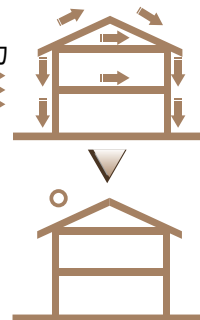
水平力が弱いと…

地震力



水平力が強いと…

地震力

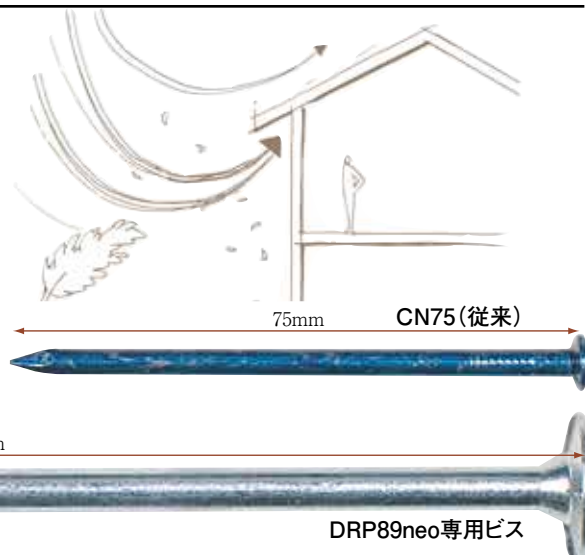


耐風力

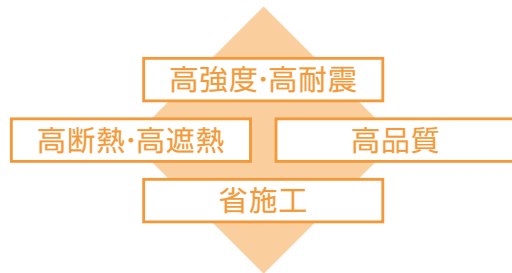
Windproof power

台風にも**安心**。

鉛直力、水平力に対して強く抵抗する性能に加え、台風などの強い風による吹き上げに対しても、専用ビスを用い、躯体に緊結するので飛ばされる力を抑えます。



高い

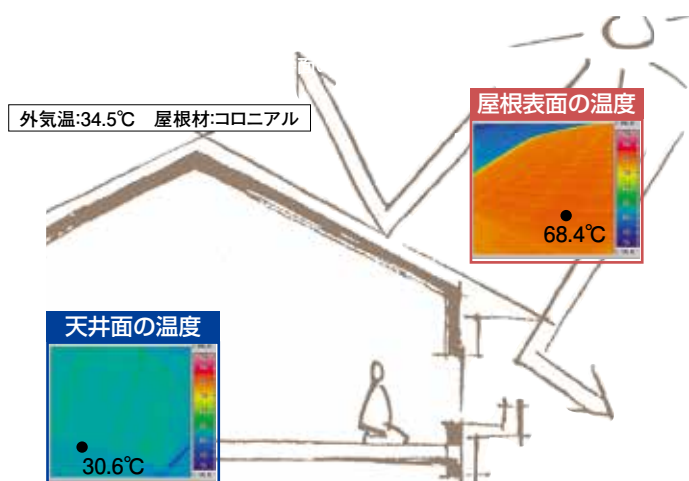


高遮熱 High heat interrupted

夏の熱気を遮り快適。

高い遮熱性能で屋根面からの熱を効果的にさえぎります。夏場の実験※で約40℃もの熱をカットできました。

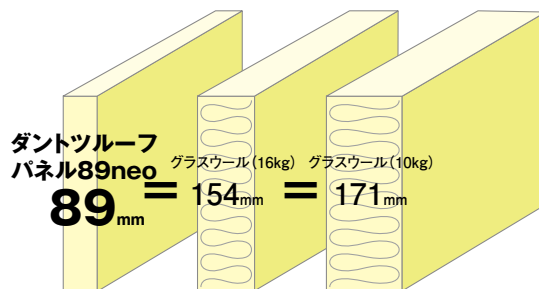
※右のイラストは2002年7月26日埼玉県での実験値です。イラストと実例物件とは異なります。



高断熱 High heat insulation

冬の冷気を抑え快適。

DRP89neoの断熱性能は、一般的な断熱材(グラスウール)と比較すると、約2倍の断熱性能があります。



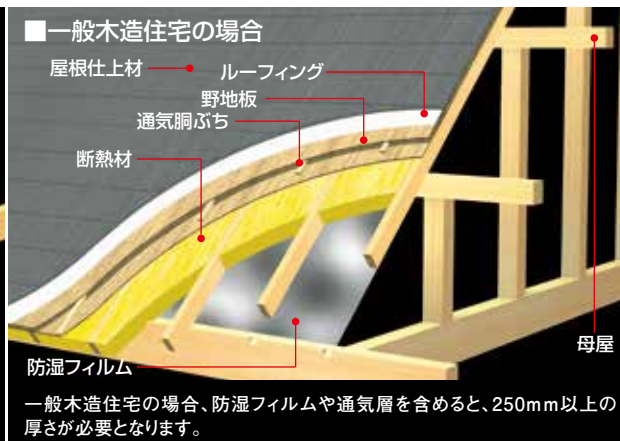
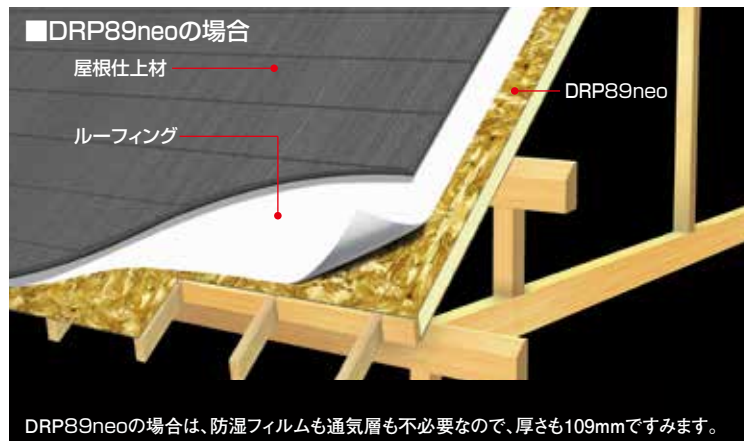
省施工 Construction is excluded

省施工性を実現。

DRP89neoは、一般在来工法で必要な防湿フィルムや通気層などの施工が不要な優れた性能を持っています。また、パネルは物件に合わせたサイズにジャストカット※3している為、現場では余計な端材が発生しません。

- 防湿フィルム施工なし
- タル木施工なし
- 通気層施工なし※1
- 断熱材施工なし
- 野地合板施工なし※2
- あおり止め金物施工なし
- 物件に合わせたジャストカット対応※3

※1 温熱4等級評価を受ける際、屋根材が限定される場合があります。
※2 ルーフィングはゴムアスファルト系を必ずご使用ください。
※3 製作範囲以内でのジャストカットです。





PERFORMANCE | 性能

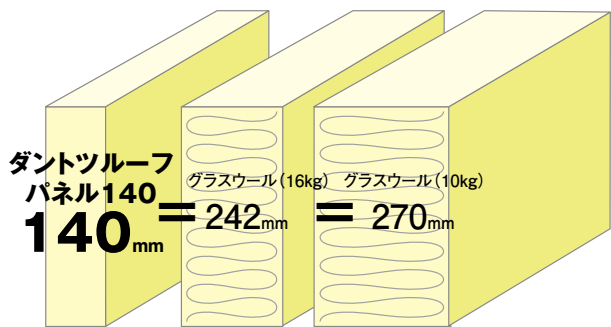
高性能な省エネ住宅にふさわしい断熱性 強度や施工性においても最高水準の屋根

高断熱 High heat insulation

最高水準の断熱性能をクリア。

暖気の逃げ道となる屋根は、断熱対策が最も難しい部位です。DRP140は、最高水準の断熱性を屋根パネルとして実現。吹き抜けの大空間や小屋裏のある住宅でも、季節を問わず快適に過ごせます。

■ **断熱性** DRP140の断熱性能はグラスウール10kgにすると厚さ270mmに、16kgにすると242mmに相当します。



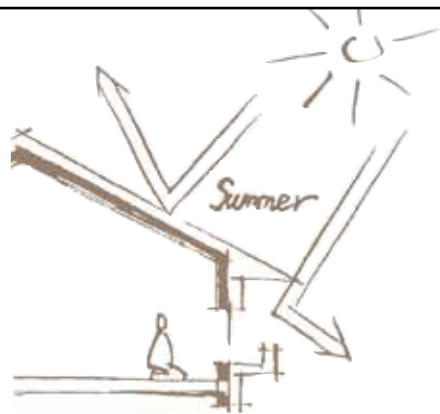
高遮熱 High heat interrupted

外気の影響を抑えて**快適**。

夏場、室内を暑くする主な原因は、太陽に照らされて熱くなった屋根からの伝導熱です。DRP140は屋根表面の熱が屋根裏まで極めて伝わりにくいため、室温の上昇を抑制することができます。

その結果、住まい全体の冷房負荷を大きく削減し、高い省エネ効果を発揮します。

詳しくはP6をご覧ください。

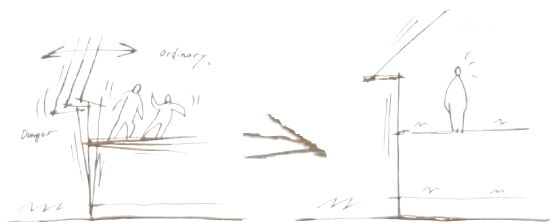


高耐震 A high earthquake-proof

高い水平力で**地震に強い**。

(床倍率**3.56倍**)

詳しくはP5をご覧ください。



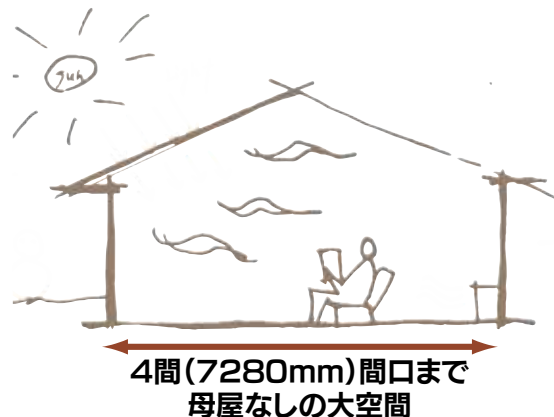
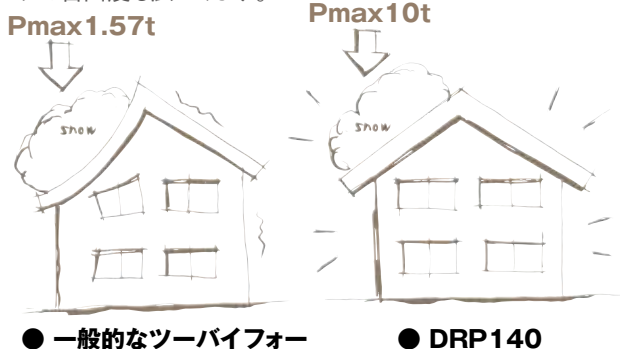
能。
パネルです。



高強度 High intensity

高い面外曲げ強度で積雪に強い。
間口**7.28m***までの大空間が可能。

DRP140はさらに高強度を追求し、最大スパン4.0mを達成。
4間(7280mm)まで母屋なしの大空間が実現でき、プランニングの自由度も広がります。

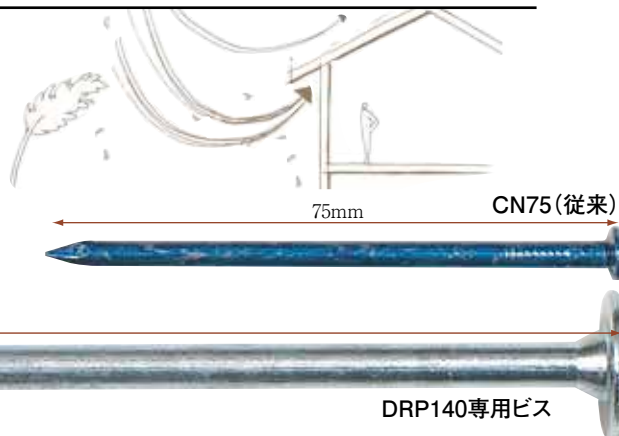


※上記は一般地・積雪30cm・5寸勾配・軽い屋根の場合です。

耐風力 Windproof power

台風にも安心。

詳しくはP5をご覧ください。



省施工 Construction is excluded

さらに省施工を実現。

優れた高強度性能により、母屋梁が不要(削減)。また、パネルの大型化による施工枚数の削減により、さらに省施工を実現できます。

※1 温熱4等級評価を受ける際、屋根材が限定される場合があります。
※2 製作範囲以内でのジャストカットです。

- DRP140の省施工**
- 防湿フィルム施工なし
 - タル木施工なし
 - 通気層施工なし※1
 - 野地合板施工なし
 - 断熱材施工なし
 - あおり止め金物施工なし
 - 物件に合わせたジャストカット対応※2

さらに

- ①母屋梁不要(削減)
- ②施工パネル枚数の削減

※①,②は、プラン屋根形状によって異なります。

設計者の方々へ:

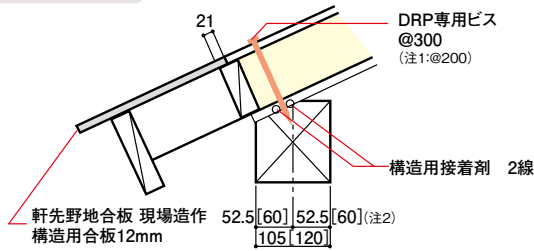
設計・発注前に必ず本章をお読みください。

DRP仕様比較表

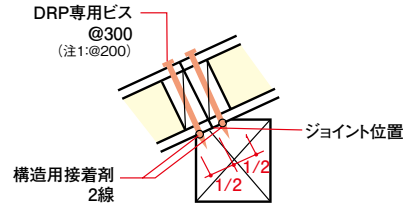
	DRP89neo	DRP140	備考
パネル構成	<ul style="list-style-type: none"> 基本パネル・開口付パネル・けらばパネル 面材:OSB11mm(表面) 断熱材:硬質ウレタンフォーム厚さ89mm 垂木:38×89mm@455(500) 面材:OSB9mm(裏面) 気密テープ 隅パネル・谷パネル・隅谷パネル 面材:OSB11mm(表面) 断熱材:硬質ウレタンフォーム厚さ89mm 垂木:38×89mm@455(500) 面材:OSB9mm(裏面) 気密テープ 	<ul style="list-style-type: none"> 基本パネル・開口付パネル・けらばパネル 面材:OSB11mm(表面) 断熱材:硬質ウレタンフォーム厚さ140mm 垂木:38×140mm@455 面材:OSB9mm(裏面) 気密テープ 	※面材の種類 (表面)JAS構造用パネル3級 (裏面)JAS構造用パネル4級 F☆☆☆☆
製作(対応)範囲			
基本モジュール	910(尺)、1000(M)	910(尺)	
パネルサイズ	軒なし 長さ:L≤4000mm 軒あり 長さ:L≤4730mm(軒:730mm(固定))	長さ:L≤6000mm 長さ:L≤6000mm(軒:1000mm以下)	※軒ありパネルは軒先まで含んだ長さになります。
屋根勾配	切妻:0寸~10寸(0.5寸刻み)、12.5寸 寄棟:3寸~10寸(0.5寸刻み)、12.5寸 ※但し谷部分は3寸~10寸(0.5寸刻み)	12.5寸以下で勾配制限なし	※棟木補助材の製作範囲は、3寸~10寸(0.5寸刻み)、12.5寸です。
パネル形状	基本パネル 開口付パネル けらばパネル 隅パネル 谷パネル 隅谷パネル ※高強度パネル(垂木2枚合わせ)有り	基本パネル 開口付パネル けらばパネル	※左記は代表的なパネル形状になります。詳しくは、技術マニュアルをご確認ください。
屋根形状	切妻 片流れ 陸屋根 寄棟 マンサード 棟違い 上記形状による棟違い、L型、T型も可能	切妻 片流れ 陸屋根 棟違い ※L型、T型可能	※DRP140の場合、L型・T型屋根形状は、特殊納まり(一部現場納め)になります。詳しくは、技術マニュアルをご確認ください。 ※左記屋根形状であっても納まりにより製作できない場合があります。詳しくは、技術マニュアルをご確認ください。
断熱性能			
熱貫流率	0.350 W/m ² ·K	0.242 W/m ² ·K	※石膏ボードを含んだ熱貫流率になります。
熱伝導率	0.026 W/m·K	0.026 W/m·K	※断熱材種類:硬質ウレタンフォーム
強度			
面外曲げ強度	Pmax=6.1t	Pmax=10.0t	※幅1.0m×スパン2.5mの試験体による最大荷重。
最大スパン	約2,954mm	約4,054mm	※一般地、軽い屋根、5寸勾配、積雪30cmの場合。 ※実際のスパンは、スパン表をご確認ください。
床倍率	3.56倍	3.56倍	※左記は高床倍率仕様、5寸勾配の場合。 ※日本住宅保証検査機構(JIO)で評価する場合のみ有効。

詳細納まり

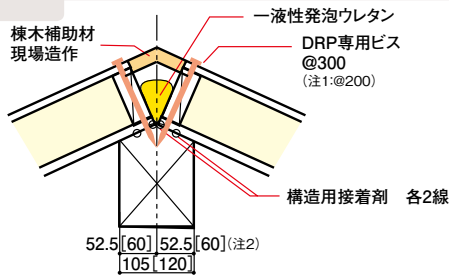
軒桁部



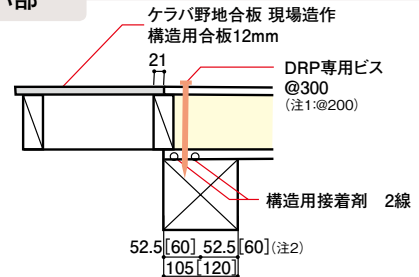
母屋部 (母屋梁上でパネルをジョイントする場合)



棟部

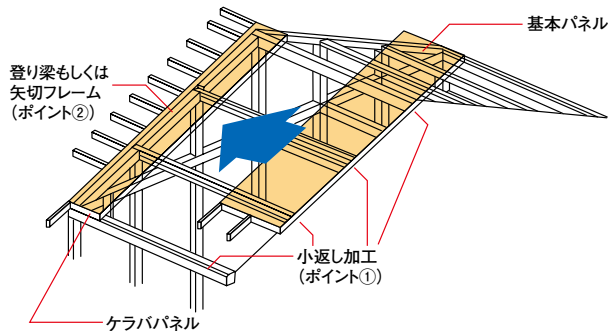


ケラバ部



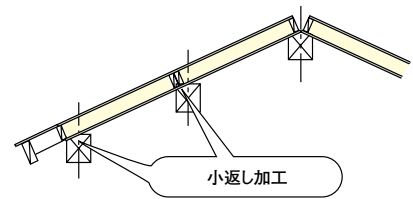
注1:高床倍率仕様はDRP専用ビスを@200で取付します。 注2:数字は軒桁が幅105mmの場合 []内は幅120mmの場合

躯体部の納まりポイント



ポイント①

パネルが接する部分(桁、梁)には小返し加工が必要です。

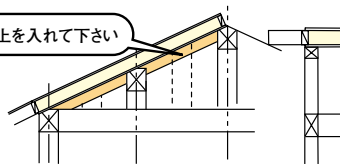


ポイント② 切妻の場合

切妻の矢切(妻壁)部には登り梁もしくは矢切フレームが必要です。

A:登梁納まり

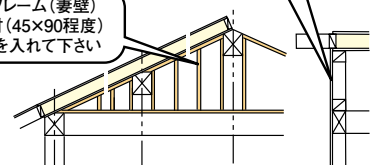
登梁90角以上を入れて下さい



B:矢切フレーム(妻壁)納まり

矢切フレーム(妻壁)
:間柱材(45×90程度)
@455を入れて下さい

面材:合板9mm程度



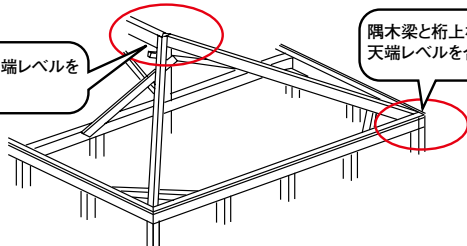
ポイント③ 寄棟の場合

※DRP140は寄棟に対応しておりません。

隅木梁、谷木梁が必要です。また、隅・谷木梁の天端と桁小返しの天端、棟梁の天端を合わせてください。

棟梁と隅木梁の天端レベルを合わせて下さい

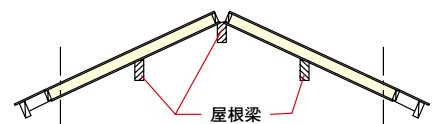
隅木梁と桁上桁小返しの天端レベルを合わせて下さい



枠組壁工法の場合

屋根構造は屋根梁方式として下さい。たるき方式、トラス方式でのDRPⅢの使用は出来ません。

屋根梁方式



※スパン、その他詳細は技術マニュアルを参照ください。

■ その他取り扱い注意事項

●本カタログで使われているマークには、以下のような意味があります。



警告

- 取付けを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。



警告

◆パネルの施工について

- パネルを躯体に取付ける前にパネルに乗らないでください。転落するおそれがあります。
- 強風下での施工は、行わないでください。風にあおられ転落、落下のおそれがあります。
- 降雨時での施工は、行わないでください。足元が滑り転落、落下のおそれがあります。
- パネルに付いている栈木は工具等の滑り止めで足場ではありません。栈木の上でかけやを使う等強い衝撃を与えないでください。栈木が外れ転落、落下のおそれがあります。

◆吊り治具の使用について

- パネルを吊り上げる際は、吊り治具のロックレバーを倒しパネルに固定されたことを確認してください。固定されていないとパネルが落下するおそれがあります。
- 2枚以上のパネルをジョイントし、まとめて吊りあげるのはしないでください。パネルが落下するおそれがあります。
- 吊り上げる際に、吊り治具にある赤の表示(危険マーク)が出た時は、吊り治具の向きを変えてください。ウレタンゴムが完全には広がっておらず、パネルが落下するおそれがあります。
- パネルを吊り上げた時点で、治具のウレタンゴムが圧縮しているか必ず確認してください。ゴムが圧縮されていないとパネルが落下するおそれがあります。
- その他、吊り治具の取り扱い、吊り治具に付属している取り扱い説明書を読み理解した上で使用してください。

お願い

◆パネルの施工について

- 屋根建材パネルとしての目的以外に使用しないでください。
- パネルの搬入にあたっては、枠材及びOSB面材に損傷がないようにしてください。
- パネルは木質面材と断熱材の複合製品の為、環境諸条件(湿度・温度・日射・昼夜湿度差…など)により、反り・変形する場合がありますので、工場から搬入された後、速やかに取り付けてください。やむを得ず保管を行う場合には、雨掛り・高温・多湿・直射日光を避け、風通しの良い場所に保管してください。その際は、平らな場所に枕木を必要数入れ、平置してください。
- パネルの反り・変形・雨濡れを生じさせないために、パネル取り付け後は速やかにルーフィングを取り付けてください。
- 施工途中で雨が降り出した場合は、ただちに施工を中止して頂き、雨に濡れないように養生してください。
- パネルが雨で濡れた後にルーフィングを施工しないでください。もしパネルが濡れてしまった場合には、必ず乾燥させてからルーフィング施工を行ってください。
- DRPは屋根建材パネルです。パネル以外の躯体の納まり等については、別途マニュアルを参考にビルダー様にて安全を確かめた上で施工してください。
- 工事施工者は事前に必ず現場調査を行い、進入道路・前面道路の状況や敷地の状況等、パネルの施工に問題がないか確認し、道路使用許可等必要な手続きを行ってください。
- その他、工事の施工に必要な諸届・諸手続きで、施工者が処理すべき事項は速やかに処理してください。
- パネルの施工前に作業手順やクレーン作業の合図確認等の打合せを行ってください。

その他

- 本商品は屋根建材パネルですので、壁・床・開口部の断熱設計、建物全体の間取り、空調、換気の仕方によっては、狙いの室内環境が実現できない場合があります。

免責事項

- ・取り付け説明書に記載した取り扱い注意事項が守られずに発生した不具合
- ・設計者、施工業者等使用者の指示した仕様・施工方法に起因する不具合
- ・設計者、施工業者等使用者からの支給された材料、部品に起因する不具合
- ・施工業者による施工、取り扱いに起因する不具合
- ・建築の構造・下地の変形・老朽化や外部からの衝突など、弊社の製品以外の外的要因により発生した不具合
- ・使用者もしくは第三者の故意または過失による不具合
- ・引渡し後、構造・性能・仕様などに影響を与える改変を行い、これに起因する不具合
- ・開発、製造、販売時に通常予想される環境などの条件下以外における使用・保管・輸送などに起因する不具合
- ・地震・台風などの天災、火災などの特殊要因により発生した不具合

- ◆ 記載内容の仕様、物性、品質、外観などについては、予告なく変更させていただく場合があります。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報の確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品の購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/平日 9:00~18:00 土・日・祝日 9:00~17:00(ゴールデンウィーク・夏期休暇・年末年始等は除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

- 写真は印刷のため、実際の色と異なる場合がございます。現物またはサンプルなどにてご確認ください。
- 仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 本カタログ掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。